



第15号

編集・発行  
八幡地区社会福祉協議会  
倉敷市柏島東憩の家  
倉敷市玉島柏島1532-23  
☎522-1217

平成二十八年年度

# 「八幡地区社会福祉協議会」

## 総会開催

### 第16回八幡社会福祉協議会総会



平成二十八年五月二十二日(日)柏島東憩の家で、平成二十八年年度「八幡地区社会福祉協議会」総会が開催されました。  
協議会の運営に協力していただいている理事、評議員、顧問の方々が参加され、事務局より提案された、平成二十七年の事業報告・決算報告及び平成二十八年年度の事業計画及び予算案について審議されました。  
議案は、提案どおり承認され総会は終了いたしました。



## 平成28年度 事業メニュー

事業名	日時	場所
福祉施設との交流会	平成28年6月17日(金)	デイサービス亀ちゃんの家
第12回3世代交流地区運動会	平成28年10月23日(日)	玉島みなと公園
第13回3世代交流もちつき大会	平成28年12月14日(日)	柏島東憩の家
独居高齢者自宅訪問	平成29年2月8日(水)	(準備) 柏島東憩の家
第14回ふるさと歩行ラリー	平成29年2月26日(日)	円通寺公園



# 投 稿

## ▽「いつまでも

### みんな仲良し 一つの輪」

初めまして、玉島西中学校区「人権」推進委員会の城戸信公です。日頃より、当西中学校区における人権推進活動については様々な方々にご協力を頂き感謝申し上げます。この度は八幡地区社協推進事業に併せ、更に多くの方々へ知って貰う為、推進委員会の想いを紹介して新たな参加者を募りたく寄稿させて頂きました。

推進委員会では、各学区の活動の実践や研修視察の報告を兼ねた発表紹介、中学生の作文朗読やビデオ視聴等、思い遣りを大切に活動しています。子供達と地域の方々が触れ合う機会を大切にしたい行事を中心に、園児からお年寄り迄がふれあいを大切にする交流を深めています。また、人権講演会や研修視察等は気軽に参加でき、幅広い交流と共に見聞を広められる企画でもあります。

私自身は「人権」に絡む現実的問題に一切携わる事も無く今日迄暮らして来ましたが、家族や周りには暴言を吐き出す人間性でもあり、他人前で人権を語る等、非常に不似合いな仕事なのですが、そんな私でも推進活動を通じて想う事は、「人権」とは相手への思い遣りを持つ事、気持を行動に移す事だと、自分なりに考えられる様になりました。

思い遣りを持つとは、相手の立場や気持ちに立つて物事を考え、お互いを理解し合える事。其の為には正しい知識や歴史認識を蓄える事の必要性、そして活動を続ける為の周りの方々との想いを共有出来る様、輪の中へ勇気を持って踏み込む姿勢が大事だと思っています。いつまでも皆が仲良く安心して暮らせる街づくりを目指して、皆さんも活動に参加してみませんか。

城戸 信公

## ▽地域と子ども、

### 感謝の気持ちを大切に

一月十五日(日)にPTA主催でどんど祭りを行いました。前日から日本列島各地に大雪警報や注意報が出される中、地域の方にもご協力をいただき、とんどを組んだりぜんざいの下準備

をしたりして当日を迎えました。当日は寒む空にもかかわらず、たくさんの方々の参加をいただきました。お飾りを燃やし

ながら楽しそうに談笑をされる方、網の上でお餅やするめを焼いて新年を祝う方、とんどの残り火で焼き芋をして楽しまれてる方、ぜんざいに舌鼓をうたれている方など、新年らしい穏やかで和やかな様子があちらこちらで見受けられました。子どもたちも羽子板や竹馬、凧上げなどの昔遊びをして楽しむ姿が見られ、一昔前の正月にタイムスリップしたかのように思えました。

最近では学校行事が精選され、子どもたちが楽しみにしていた行事や集会活動がどんどん減ってきている現実があります。三十年ほど前は学校で鯉のぼり集会、七夕祭り、餅つき大会、とんど祭り、ひな祭り集会など様々な行事や集会が行われており、子どもたちも日本古来の伝統行事にふれる機会や集会を楽しみにしていました。

しかし、学習指導要領の改訂や学校週5日制の本格導入により、「地域でできる行事は地域に返そう」という考え方が主流となり、子どもたちにとって楽しい活動が学校から少しずつ姿を消していききました。そういった意味で地域のコミュニティや社会福祉協議会、公民館等の果たす役割が大きくなってきています。

昨年十二月に八幡地区社会福祉協議会主催の餅つき大会にお招きいただきました。一番に思うことは「準備が大変だろうな」ということです。餅米や餅つきに必要な道具を集めることから始まり、時間的な計画もたて、前日から餅米をかし、当日は早朝から餅米を蒸し、準備万端整えて当日を迎えます。食べ物扱うので衛生面での配慮も当然重要になってきます。役員さんや民生委員さん、地域の方々の気苦労は大変なことと思いますが、参加している子どもたちの表情は生き生きとして笑顔がはじけています。

自分たちが日頃から何不自由なく生活できるのは保護者や家族の方々の励まし、見守ってくださる地域の方々の協力、助けてくれる友達や先生が存在があってのことです。だからこそ「ありがとう」という気持ちを、言葉を大切にしたいと思っています。

昨年四月に六年生が行った全国学力学習状況調査において大変興味深い結果が出ています。

「家の手伝いをしていますか?」「将来の夢や目標をもっていますか?」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか?」の問いに対して「そう思う」と答えた児童は全国平均を大きく上回っています。家庭での手伝いや地域の行事に参加することで、自己肯定感や感謝の気持ちが育ってきているのではないかと思います。

たくさんの方々の地域行事に参加した子どもたちが大人になり、自分たちがお世話をする側に回って地域を盛り上げていってほしいものです。そして故郷を大切に思い、「ありがとう」がいつばいの地域作りに貢献してほしいと願っています。

倉敷市立玉島南小学校長 切上 歳明

## ▽「火災予防」

岡山県は、降水量1ミリ未満の日が日本一多いことから「晴れの国岡山」と言われています。玉島も雨は少なく温暖な気候で、過ごしやすい地域です。

最近では秋の時期がずれ、冬になっても暖かい日が多く、昔のように寒いと感じる日が少なくなりました。

さて、今年のお正月は、晴天で暖かい快適な日が続く、私のはのんびりと過ごすことができそうです。しかし、年ごとに子どもの頃のようなわくわくする感覚がなくなってきたことは残念です。

昨年十二月二十二日に新潟県糸魚川市で大規模火災が発生しました。新聞報道によると、被害は焼損棟数一四四棟、焼損面積約四万平方メートルで、原因は「鍋の空炊き」と言われています。死者が出なかったことは幸いでした。

大火になった大きな原因は、空気の乾燥と特に強風という気象条件が重なったことです。一般的に火災は、空気が乾燥し風が強いときに拡大します。火の粉が飛んで予想外の場所から燃えだします。山火事も、風の強い日に下草の焼却から飛び火により発生することが多いです。

さて、建物火災による死傷者の約九割が住宅火災でなくなっている。また、死者の約六割が六十五歳以上の高齢者です。更に約七割が逃げ遅れによるものです。それでは、一般家庭の火災原因を少しあげてみます。

コンロに火をつけたままその場を離れる、仏壇にろうそくなどをつけたままその場を離れる、寝たばこ・くわえたばこ・灰皿などへ吸殻の後始末不備、ストーブに可燃物を近づける、庭先でゴミ焼きをしているとき風で火の粉が飛び火するなどです。火災で家が全て燃えてしまふかしないかは、早期火災発見と初期消火によります。

私の記憶に残る事例です。コンロで天ぷら鍋をかけたままその場を離れ、戻ってくると換気扇から天井にかけて火が回って消火できず、二階に二十代の息子が「火事だ。」と叫んで知らせた。息子の証言、「階段から下に降りようとしたが、煙がすくって一階に降りることができなかった。屋根をつたって隣の敷地に飛び降りて助かった。煙と熱気で本当に怖かった。生きた心地がしなかった。」と話していました。ぜひ、皆さんに煙の恐ろしさを知ってほしいと思います。

そこで、住宅用火災警報器について簡単にお話します。新築の住宅は、住宅用火災警報器をつける義務があります。既存住宅の設置猶予期間が終了し、平成二十三年六月一日から全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化となりました。住宅用火災警報器(寿命十年)を一個五千元で購入したと仮定すると、一日約一、三円です。大切な住まいと家族を守るには日々の用心と備えからです!!

住宅用火災警報器をつけて良かったという事例が倉敷市消防局のホームページに出ています。ぜひ見てください。

## STOP THE 住宅火災

- (1) その場を離れない  
コンロ、仏壇、たき火等離れるときは必ず火を消す
- (2) たばこ  
寝たばこ・くわえたばこをしない、灰皿の後始末をする
- (3) ストーブ  
洗濯物・衣類等可燃物を近づけない、給油するとき必ず火を消す
- (4) コンセント  
タコ足配線・電気コードを家具等の下に置かない、コンセント、プラグの清掃チェックしてみてください。

これから、本格的に寒くなり空気も乾燥し風も強くなります。暖房器具を使用することも多くなるので、火事には気をつけましょう。火事を起こさないために、一人ひとりが防火意識を自覚し当たり前のことを当たり前に実行することです。(T・S)

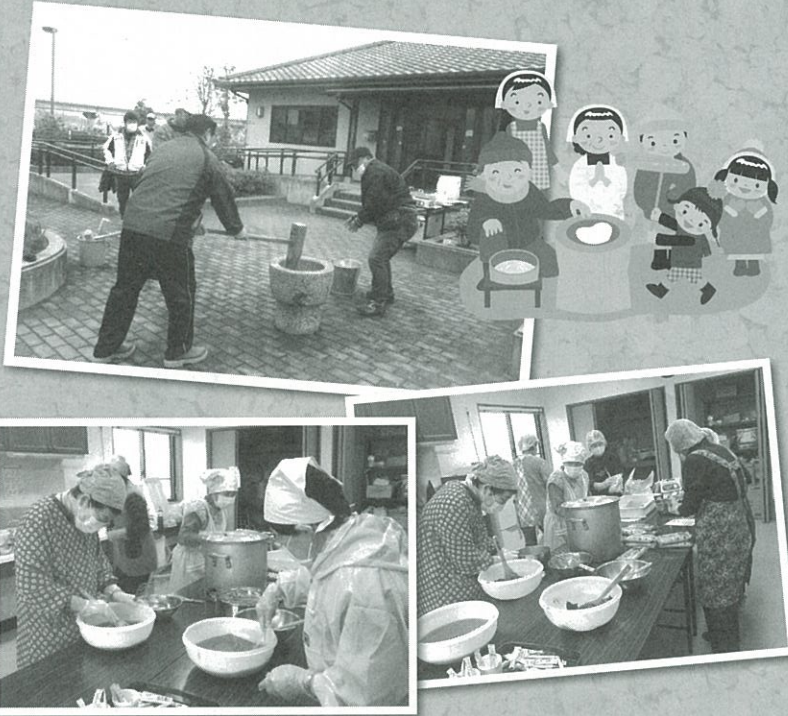


### 第13回3世代交流もちつき大会

平成二十八年十二月四日(日)柏島東憩の家広場で、高齢者・親・子が集い、「三世代交流もちつき大会」が行われました。前日の天気予報は雨でしたが、当日は曇り空で少し肌寒い中、約三〇〇人と多くの人が参加していただきました。

最近では、家庭でもちつきをする家も少なく、初めて見る子供たち、又、昔を懐かしく思う大人も多くおられました。早朝からもち米を蒸し、二つの石臼でつき、ぜんざい・しょう油・きな粉の三種類を食べてもらい「美味しい・美味しい」と喜んでもらいました。その後ビンゴゲームをして、お菓子・縫いぐるみ等の景品を渡しました。

天気は少し悪かったのですが、参加者の皆さんに喜んでいただけただけの半日でした。前日の準備から後片付けまで、お手伝いをいただいた皆様大変ありがとうございました。



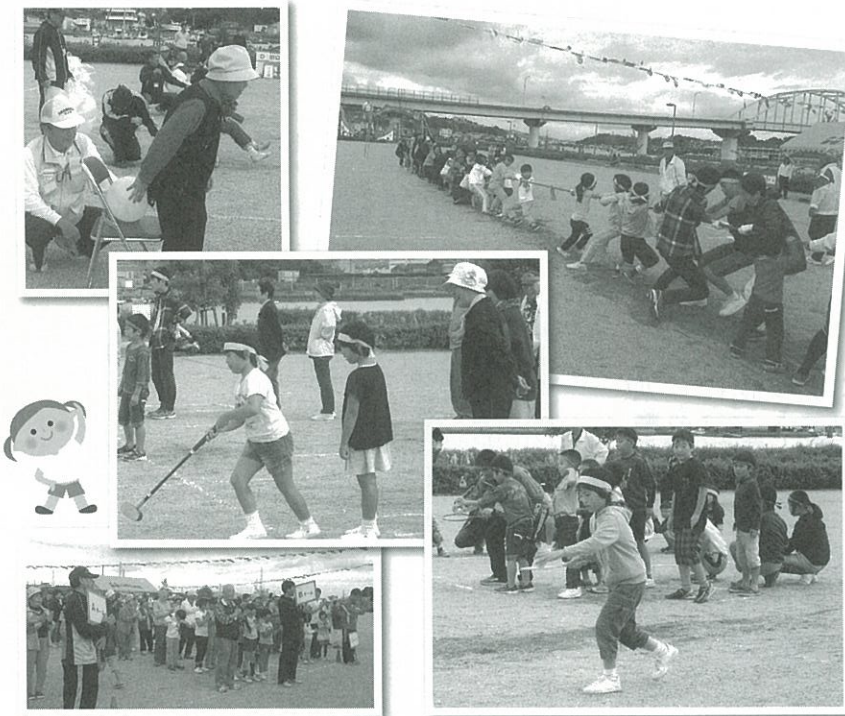
### 第12回3世代交流地区運動会

平成二十八年十月二十三日(日)玉島みなと公園で、約二〇〇人が集い、「三世代交流地区運動会」が行われました。

午前中には、万国旗・テント設置・ライン引き等の準備を各町内役員・協議会評議員等にお手伝いをしていただきました。午後から西山壽男会長の挨拶の後、綱引き・自転車リム転がし・パン食い競争等の競技を行いました。

中でも、綱引きについては、綱を引くだけではないことではないと思っていた大人達もいざ綱を持ち引き始めると本気モードになり、終わった時には、少し疲れた表情に変わっていたのが印象的でした。

会場全体に笑い声の絶えない日となりました。お手伝いをいただいた皆様ありがとうございました。



### 第13回ふるさと歩行ラリー

二十八年度の実施が新聞記事に間に合わないため、二十七年に実施したものを掲載します。

平成二十八年二月二十八日(日)約二〇〇人の参加をいただき「ふるさと歩行ラリー」が行われました。

前年は、雨と強風のため中止しましたが今年は、好天に恵まれ柏島東憩の家を出発し水玉ブリッジラインを渡り、乙島泉谷大井戸を経由し戸島神社へ行き、柏島東憩の家に帰るコースで実施しました。(約5km)

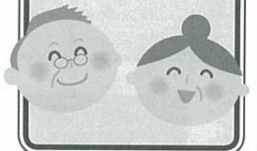
橋上から見る港はその昔、備中唯一の良港として繁栄し高瀬舟・北前船が多く出入りし、賑わいだ時代を思いながら歩くことが出来てよかったです。

お手伝いをいただいた皆様ありがとうございました。





**玉島南高齢者支援センターは高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活を送れるよう、保健・医療・福祉に関する総合的な支援を行っています。**



玉島南高齢者支援センターの管轄域は玉島南小学校区三・八%沙美小学校区四四・三%南浦小学校区では四八・二%と倉敷の中でも高齢化率の高い地域です。ここ近年の介護保険では平成二十七年四月より特別養護老人ホームの入所が要介護1から要介護3からとなりました。倉敷市では昨年からは総合事業をはじめ、要支援1・2の方の予防訪問介護(ヘルパー)、予防通所介護(デイサービス)が介護保険から市の事業となっています。

こういった現状を踏まえ、私たちのセンターでは高齢化率の高い高知県や津山市、総社市で地域住民が自主的に行っている百歳体操を参考に、『生涯現役プロジェクト いきいき元気体操』を開発しました。歩いて行ける範囲で出来、毎週一回体操を行うことで、介護予防、認知症予防、集い・見守りの場づくりの支援を行っています。手や足に錘を付けて歌をうたいながら行う体操で、六週間の指導の間に体操だけではなく、認知症についても学べ指導後は自主活動がスムーズに行えるプログラムを実施しています。



(玉島南高齢者支援センター) 電話五二八一三三三六六

現在玉島南小学校区に六か所、沙美小学校区に四か所、南浦小学校区に一ヶ所のべ一三〇人の方が自主的に「いきいき元気体操」を行っています。初回、半年後、一年後には身体機能の計測を行い参加者が効果を実感できるものとしています。大股二歩、六メートル歩行では多くの方に効果が出ています。参加者からは「姿勢が良くなった」「膝の痛みがなくなった」「階段が楽に登れるようになった」などの声も聞かれています。センターでは体操の体験会なども行っています。お気軽にご相談ください。

### 退任挨拶

民生委員・児童委員として一期、三年務めさせていただきました。最初は委員はどういう活動をするのだろうかと不安でいっぱいでしたが、まわりの方々に支えられながら、なんとか任務を終えることが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。ちなみに委員とは、高齢者、障がい者、子育て家庭など地域の住民の相談にのり、必要に応じて行政など福祉の専門機関につなぐといった役割を担う、また委員制度は岡山県が一九一七年全国で初めて設けた生活困窮者支援の「済世顧問制度」が前身であると書いてある。日本では少子高齢化が進みまわ

平素から八幡地区の皆様には、色々ご協力していただき、ありがとうございます。八幡地区社会福祉協議会のメニュー事業であります福祉施設との交流、三世代交流運動会、三世代交流もちつき大会、独居高齢者自宅訪問、ふるさと歩行ラリー等は、地区会員・民生委員・児童委員の方々に、大変お世話になりました。今回地区内、民生委員・児童委員八名の中、五名が退任し、新しく五名の方が委嘱されました。私も退任の一名であります。平成元年から平成六年まで、主任児童委員、その後民生委員・児童委員として、昨年十一月三十日までさせていただきました。色々な事がありました。高齢者の方々、一人暮らしの方々顔つなぎができました。私

にとつて大変良かったと思っています。昨年私個人としては、

- 一、裁判員の依頼(高齢の為辞退)
  - 一、九月中国管区警察局長から功労賞受賞
  - 一、十一月社会福祉功労賞、厚生労働大臣表彰
  - 一、十一月自治会等地縁による総務大臣賞受賞
- これも皆様方のご支援ご協力を受賞でき厚く御礼申し上げます。
- 今後は、私にできる範囲で頑張りますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。
- 二〇一七年が皆様にとつても充実した年になりますようお祈り申し上げます。

西山 壽男

りの町内を見ても、一人暮らしのお年寄りや、空き家の増加が目につくようになりました。また、ほとんどの世帯が共働きで昼間はだれも家にいないというような現状もあります。高齢化が止まるわけではありませんが、これからは身近にある豊かな資源、人材など地域の宝を生かしながら、住民全体の世代を超えた交流を進め、子ども達に地元での愛着を育んでいくことが地域の活性化、発展につながっていくのではないのでしょうか。最後になりますが、皆様のご活躍とご健康を願っております。どうもありがとうございました。

岡部 正広

### 民生委員・児童委員及び主任児童委員の地区担当(敬称略)

穴吹征男	柏台5丁目
森分宏幸	船宮・金谷・福井・八幡・原団地
出宮加代子	榎山・奥谷・寺前1・寺前2・畑・深底・蔵戸・大井・辻谷・南陽台・新南谷・南谷ハイツ 他
穴貝成一	金頭地区・桃山団地・原上団地
原田祥一郎	羽口・南谷・山之端・奥谷市営団地
白神浩三	押山・宮本町・ひまわり団地
中藤知之	外浜・宝亀
宮原美貴子	西浦
西山圭子	玉島南小学校区

西山圭子さんは主任児童委員です。ほかの方々は民生委員・児童委員です。

昨年12月に、民生委員・児童委員及び、主任児童委員の改選が行われました。退任されました方々は、大島洋志さん、岡部正弘さん、西山壽男さん、日吉一三さん、富山徳二さんの5名です。大変お世話になりました。新たに委嘱されました方々は、森分宏幸さん、穴貝成一さん、白神浩三さん、中藤知之さん、宮原美貴子さん、西山圭子さんの6名です。平成28年12月1日から9名で活動しています。